

# 技術者、研究者が「自分事」として取り組む 技術戦略の実践フレームワーク

～ R&D現場のイノベーションを生み出す力をいかに高めるか ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 6月10日(月) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)

《ご参加頂きたい方》

製造企業の経営者、技術・開発部門長・管理者、技術者・研究者、技術・開発企画スタッフ、特に、下記の課題認識をお持ちの方。  
・未来の事業及び顧客価値につながる技術戦略を具体化したい／イノベーションを興す技術人材を育てたい  
・R&Dの組織文化を改革したい、新たな組織文化をつくりたい／自社の保有する技術を組織の壁を越えて共有、活用したい  
・組織・分野の壁を越えた技術者、研究者の協働を促進したい

講師 株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役 平木肇 氏

講師紹介  
92年筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティング入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R&D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。“技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える”をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力・価値創造力の強化と人材の開発を支援している。



《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) から申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	41,040円(本体価格 38,000円)	一般	45,360円(本体価格 42,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191114-1010 (※) 技術者、研究者が「自分事」として取り組む技術戦略の実践フレームワーク			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからも申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。(TOP)→[公開セミナー]→[よくあるご質問]

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: [tamiaki@bri.or.jp](mailto:tamiaki@bri.or.jp)

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

## プログラム

ものづくり企業のR&Dにおいて、現在の事業及び商品の実現に加えて、未来の事業及び価値の創造に対する経営からの期待が高まっています。しかし、多くのR&Dでは、「既存の延長線上のテーマが中心になっている」「顧客の要求や他社の動きなど見えている課題に終始している」「組織や分野の壁を越えたシナジーが起きない」「技術が属人化し、共有できていない」など、現場の現状に深い悩みを抱えています。本セミナーは、株式会社ケミストリーキューブが開発した独自手法をもとに、継続的にイノベーションを生み出すR&Dへむけて、現場の技術者、研究者が「自分事」として取り組む技術戦略活動の進め方について解説します。

### 1. 技術戦略活動のコンセプト

- ・イノベーションとは
- ・変化するR&Dの役割と現場の悩み
- ・技術戦略は、経営戦略・事業戦略・製品戦略の下位ではない
- ・技術戦略は、単なる戦略立案手法ではない
- ・技術戦略は、R&Dを進化させる組織活動
- ・技術戦略が描き出すもの
- ・技術戦略を実践する3つの基本プロセス ～技術の構造化、イノベーション構想、技術・知財戦略デザイン～

### 2. 自社技術の構造化

- ・なぜ技術マネジメントは難しいのか ～技術の多義性～
- ・技術の5階層モデル(技術の捉え方)
- ・技術創造のUモデル
- ・技術の棚卸がうまくいかない理由
- ・技術の棚卸の鍵は「構造化」
- ・技術の構造化手法 i Map (アイマップ)
- ・i Map (アイマップ) の実践フレームワーク

### 3. イノベーション構想

- ・イノベーションへ向けた3つのアプローチ ～価値の革新、技術の展開、技術の進化～
- ・ワオ! フレーム ～未来価値のイメージング～
- ・バリューカタログ ～プロトタイプング～
- ・思考プロセスの基本は「仮説検証」
- ・ワイガヤ ～本質的な問いを前向きに突き詰める～

### 4. 技術・知財戦略デザイン

- ・技術者、研究者の目線から事業家の目線へ
- ・TVP ～技術マネジメントの単位を変える～
- ・事業・R&D・知財の三位一体の取り組み
- ・知財戦略における4つの戦略

### 5. イノベーションを生み出すR&Dの文化をつくる

- ・技術戦略活動は、技術者、研究者が成長する最高の場
- ・キーワードは「自分事」 ～原点は技術者、研究者の思い～
- ・経営者の役割は評価ではなく支援
- ・大切にしたい7つのマインド

### 6. 実践事例の紹介

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。  
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。